

# 北沢の不法投棄の 解決に向けて(21)

今回は、「エコフロンティアかさま」(茨城県笠間市)の建設経緯や施設のあらまし、受け入れ廃棄物について説明しました。今回は、おもな施設の概要について説明します。

「エコフロンティアかさま」のおもな施設としては管理棟、埋め立て地、浸出処理施設、中間処理施設としての溶融処理施設、防災調整池、自然遊水地があります。

管理棟には環境学習施設が併設されています。環境学習施設には多目的空間(企画展示コーナー)、展示室(廃棄物や環境などに関する展示)、工作体験室(リサイクル品の工作工房)、情報コーナー(施設の維持管理状況などの情報提供)等があり、小・中学生を始めとする県民を対象とした環境学習の機会を提供しています。

埋め立て地は、国の基準を上回る多重の遮水構造を採用しています。また、遮水シートには破損検知システムを備えるなど、安全性に配慮した施設になっています。

浸出処理施設は、埋め立

て地で発生する浸出水に含まれる有機物や浮遊物質、カルシウム等を除去し、公共下水道に放流しています。また、水質検査実習室を設け、環境学習の場としても活用しています。

溶融処理施設のガス化溶融炉では、高温(1,600度)でゴミを溶融することによりダイオキシン類の発生を抑制しています。溶融後に生成されるメタル(金属)は再生利用され、スラグ(ガラス質の固形物)は埋め立て地側面の保護土としても利用しながら埋め立て処理しています。また、溶融の際に発生するエネルギー(熱)を電力に変換し、施設で利用する外、余った電力を電力会社へ送電することができます。

防災調整池は敷地内からの雨水流出量を調節し、下流河川への影響を防ぎます。

自然遊水地では、シランやハッチョウトンボ等貴重な動植物生息地である湿地の保全を図るため、湿地の大部分を現状のまま残し、周辺の自然環境との調和を図っています。

また、笠間市では、「エコフロンティアかさま監視委員会」による施設内監視を毎月1回実施しています。施設側も、モニタリングの結果を場内の表示板にリアルタイムで公表したり、計測結果を公開するなど、情報公開に努めています。

馬頭最終処分場でも、ケーブルテレビ高度化事業で整備する情報網を活用し、処分場の映像(搬入・埋め立ての映像等)の情報公開などを柱とする住民による監視システムが検討されています。今回は、埼玉県環境整備センターについてお知らせします。



## 不法投棄現場周辺にかかる水質分析結果

(平成19年度第1回年間変動調査分)

小口字北沢地区不法投棄現場周辺の水質分析結果をお知らせします。

調査項目 健康項目、生活環境項目、その他

採水日 平成19年5月21日

採水場所

1 周辺環境水

(1) 投棄地直下河川 (2) 小口川上流

2 投棄現場

(1) 投棄地地下流側浸出水 (2) 投棄地内浸出水

調査結果 周辺への汚染拡大の兆候は認められない。

問い合わせ 環境整備対策室 ☎0287-92-1110

## 最終処分場を視察しませんか？

- 視察先 埼玉県環境整備センター(埼玉県寄居町)  
エコフロンティアかさま(茨城県笠間市)  
その他、要望の施設
- 対象者 那珂川町に住所を有する団体・グループ
- 実施期日 申し込み団体等と調整のうえ決定します。

## 相談窓口の開設

相談日時 毎週水曜日 午後1時～午後6時  
場所 役場本庁2階 第3会議室



国際交流員  
アンドリュー・シューク

## 「また会える日まで」

私は、去年8月、那珂川町の国際交流員として来日しましたが、今月でお別れすることになりました。今振り返ってみますと、この1年、

「いろいろな体験をさせていただいたものだ」と感慨無量です。

日本の伝統的な習慣を経験することができました。国際交流事業の助手として、稲刈りに参加したとき、実際に手に鎌を持って、稲を刈り取りました。福島さんの田んぼでは、ていねいに苗を植えないと、うまく稲刈りができないことがわかりました。自分で植えようとしたら、やはり難しいだろうと感じました。強い風で、植えたばかりの苗が移動することもあると聞いて、驚きました。

個人的なことでは、「マウンテンエコーズ」というジャズバンド、また「OliOli 合唱グループ」に入団して、母国だけでなく、世界中で演奏が楽しめることを実感しました。

姉妹都市交流事業では、那珂川町の子どもたちとともにカナダとアメリカに行きました。通訳として頑張りましたが、そのとき、トロント市の懐かしい場所や、通い慣れた通りを、早朝、子どもたちと一緒に散歩しました。ホースヘッズ村に滞在中は、村の皆さんの温かいおもてなしを受けました。同時に、那珂川町の子どもたちとも、親しくなれたのは嬉しいことでした。

去年の夏、那珂川町の小学生たちと、カヌーで川下

りをしたことや、海の生き物を観察したことは、楽しい経験でした。那珂川町の宝物である子どもたちと、楽しく触れ合えました。

学校訪問では、中学校3校、小学校11校、それから、幼稚園2箇所、保育園8箇所、全部回ってきました。音楽やゲームを通して、英語やカナダのことを紹介しました。大きな学校から木造の小さな学校まで、さまざまな雰囲気味わうことができました。

やはり、1年間というのは、町の皆さんと触れ合うには短すぎます。那珂川町ならではの美しい景色、日本に残っている原風景が私の心に刻まれています。秋の紅葉や澄んだ青空、初夏の苗を植えたばかりの田んぼ、静かに輝いている水面、どれも感動的でした。ウグイスの美しい鳴き声も耳に残っています。この日本のすばらしさを、カナダのみんなに紹介したいと思っています。

母国に帰って、私は結婚します。その後また日本に戻って、未来の妻が現在住んでいる埼玉県坂戸市で暮らします。そこは、旧馬頭町と交流のあったところです。隣の県なので、きっとまた、皆さんにお会いできることと思います。

この町を離れるにあたり、町の皆さんに心からお礼を申し上げます。藤田教育長をはじめ、生涯学習課の皆さん、学校の先生方には大変お世話になりました。学校で出会った子どもたち、英語の楽しさやカナダのことを忘れないで頑張ってください。大きくなったら、是非、カナダに来て、英語を使って楽しんでください。

お世話になりました。



- 福祉基金へ  
十萬二千五百円  
(株)みらい関係企業親睦  
ゴルフ大会参加者一同様
- 奨学基金へ  
十萬円  
人見宏様(馬頭)
- 図書館へ  
図書「二宮金次郎の一生」他七冊  
岩河良彦様(馬頭)
- 各小・中学校へ  
図書三百四十八冊(四十万円相当)  
岩河良彦様(馬頭)
- 馬頭西小学校へ  
竹箒十本  
末吉久治様(小砂)
- 社会福祉協議会福祉振興基金へ  
十萬円  
人見宏様(馬頭)
- 社会福祉協議会へ  
十萬円  
佐川耕一様(宇都宮市)
- 社会福祉協議会へ  
清拭用タオル約二百枚  
木村紀枝様(馬頭)
- 善意銀行へ  
八千円  
匿名(393回)

寄贈



ありがとうございます  
ございます